

【報告】

情報リテラシー教育広報活動としての SNS：平成 27 年度冬学期ガイダンスの Facebook 投稿を事例に

寺島久美子（学術情報課雑誌情報係）

一橋大学学術・図書部

1. はじめに

一橋大学附属図書館では、情報リテラシー教育の一環として、年間を通じて図書館ガイダンスを実施している。平成 27 年度冬学期は「冬のガイダンス」と題し、データベース講習会や英語論文の書き方講座など、一連のガイダンスを実施した。

図書館ガイダンスを広く知ってもらうために、利用者への広報にも力を入れている。平成 27 年度からは、従来のポスターやチラシによる広報に加え、Facebook と Twitter を用い、SNS 上でもガイダンスの広報を実施した。同年の冬学期ガイダンスに際しては、ガイダンスの認知度の更なる向上を目指し、Facebook 上で「冬のガイダンス」と題したストーリー形式での投稿を 10 月から 11 月にかけて実施した。ストーリー仕立ての SNS 投稿は初の試みだったが、リーチ数の増加や「面白い」「続きが気になる」という反響などの前向きな結果が得られた。そこで本稿では、冬学期ガイダンスの連載形式による Facebook 投稿の事例を報告する。

2. 一橋大学附属図書館の情報リテラシー教育

SNS 広報の事例紹介に先立ち、まず一橋大学附属図書館における情報リテラシー教育の現状を概説する。一橋大学附属図書館では「情報リテラシー教育ワーキンググループ」（以下、リテラ WG）が中心となって、利用者への情報リテラシー教育を実施している。リテラ WG は、レファレンス係を中心に、利用者サービス係、図書情報係、雑誌情報係等の館内若手職員から構成され、図書館ツアーやガイダンス等を企画・運営している。また、附属図書館研究開発室の専門助手と助教もリテラ WG に参加し、ガイダンスの講師や企画面のアドバイスをを行っている。平成 28 年 3 月現在、リテラ WG は図書館員 7 名（うち 3 名はレファレンス係）、専門助手 3 名、助教 1 名の合計 11 名から構成されている。

リテラ WG では、学生のニーズに即した情報リテラシー教育を提供することを目指し、年間を通じたスケジュールを策定している。平成 27 年度の例としては、夏学期の 4 月に新

入生（学部生・大学院生）を対象とした図書館ツアーと、入門的な情報検索ガイダンスを約3週間にわたって実施した。5月には授業で中間レポートが課されることから、学部生を対象としたレポートの書き方講座を行った。7月には卒業論文を書き始める学生を対象に「卒業論文の書き方ガイダンス」を実施し、専門助手・助教による講義と大学院生チューターによる体験談や質疑応答を行った。冬学期には10月から11月にかけて、より高度な情報検索のためのデータベース講習会を実施するとともに、英語で論文を投稿する大学院生を対象に、英語論文の書き方ガイダンスを実施した。

また、教員からの依頼に応じて授業やゼミナールに出向き、学生の専門分野や学年に応じてカスタマイズし、情報の探し方やレポート・卒論の書き方を講義するガイダンス（オンデマンド・ガイダンス）を随時実施した。初年次教育を意図した「学生生活の技法」という学部生対象の講義の数コマに図書館員が参加し、図書館の使い方、資料の探し方、レポート作成の留意点等について指導を行っている。同講義は、平成27年度の夏学期と冬学期ともに実施した。

このように様々な情報リテラシー教育を実施する一方で、ターゲットとする学生に各種ガイダンス等の情報が十分に伝わっていないという課題も存在している。例えば平成27年度5月のレポートの書き方講座では、受講後のアンケートで85%の参加者が「(当該ガイダンスが)役に立った」と回答したものの、参加者の総数は46名にとどまった。アンケートの自由記述では「ガイダンスがあることを知らなかった」「もっと早く受けていれば良かった」という回答もしばしば見られることから、情報リテラシー教育の存在や内容、実施時期を的確に広報する必要性を、リテラWGで強く認識した。

3. 一橋大学附属図書館のSNS広報

一橋大学附属図書館では、平成24年2月からTwitter、平成24年3月からFacebookの運用を開始した。しかし当初は、SNSでどのような情報を発信するのか模索段階にあり、図書館のウェブサイトや紙媒体の広報誌との使い分けが不明確な状態であった。そこで平成26年4月から「附属図書館情報発信ツール利用検討プロジェクトチーム」が発足し、SNSによる情報発信について本格的な検討が行われた。

検討の結果、平成27年2月に「一橋大学附属図書館 公式Twitterアカウント運用ポリシー」及び「一橋大学附属図書館 公式Facebookページ運用ポリシー」が策定され、発信内容、ユーザーとのコミュニケーション、知的財産権等について方針が定められた。また、平成27

年3月に「Twitter(@hit_lib)への投稿のためのガイドライン」及び「Facebook ページへの投稿のためのガイドライン」が策定され、投稿のタイミングや掲載時の留意事項を図書館内で共有した。例えば Facebook のガイドラインでは、留意事項に「なるべく、意識して写真を掲載する」「5W1H を意識する」等が盛り込まれ、魅力的な投稿をするためのアドバイスが示されている。

これらのポリシーとガイドラインの策定を受け、図書館員が業務やイベントに関する情報をより積極的に SNS へ投稿することが奨励されるようになった。平成 27 年 4 月からは、Facebook への投稿を各係が毎週持ち回りで担当することとなり、定期的に情報を発信する体制が整えられた。加えて、ガイダンスや展示、ブックトーク等のイベント開催時は、担当者が SNS 上で広報することも可能となった。

従来、イベントに際しては、一橋大学附属図書館の広報誌「BELL」やウェブサイトの記事を掲載して広報を行っていた。広報誌では写真を用いたり、詳細な記事を載せたりして、イベントに興味を起こさせるような紙面構成を心がけている。しかし発行のスケジュールが定められているため、特定の日（例えばイベントの前日など）を狙って発行することは難しかった。また、図書館ウェブサイトでは、「お知らせ」機能を使ってイベント情報を特定の日に掲載することが可能だが、速報性を重視した簡略な情報しか掲載できず、イベントの魅力が十分に伝わらない事務的な記事になってしまうことが多かった。

SNS による広報は、写真や話し言葉を用いてイベントの魅力をアピールできるという点と、特定の日時に投稿できる速報性を持つ点で、広報誌とウェブサイトの利点を兼ね備えている。SNS によって、図書館員が自由な発想でタイムリーにイベントを広報することが可能となり、SNS は今や図書館の情報発信に欠かせないツールとなっている。

なお、一橋大学附属図書館における情報発信や「附属図書館情報発信ツール利用検討プロジェクトチーム」の詳細については、本紙収録の記事「Facebook ページ、Twitter 等を含めた図書館広報への新たな取り組み：平成 26 年度一橋大学附属図書館情報発信ツール利用検討プロジェクトチームによる 1 年」も参照されたい。

4. 冬学期ガイダンス Facebook 広報実施の経緯

4.1. 夏学期ガイダンスの SNS 広報と反省点

平成 27 年度から、リテラ WG が実施する図書館ツアーやガイダンスの広報を SNS 上でも行うこととなった。筆者は平成 27 年度よりリテラ WG に参加し、4 月の図書館ツアーと

情報検索ガイダンスの SNS 広報を担当し、ツアーやガイダンスの前日もしくは当日に Facebook と Twitter に開催時間・集合場所・内容等を掲載した記事を投稿した。同じ内容の繰り返しにならないよう、「今日は健康診断ですね」「履修登録が始まりました」等の学生生活を意識した一文を入れたり、目に留まりやすいように図書館の外観やガイダンス風景などの写真を掲載したりした。

しかし、4月の図書館ツアーとガイダンスの参加者数は平成26年度に比べて減少した。原因としては、図書館の正面入口である時計台棟の改修工事が4月初旬まで続いたため、通りがかりに参加する学生の数が例年に比べて少なかったことが考えられる。その後、5月のレポートの書き方講座でも Facebook と Twitter 上での広報を同様に行ったが、参加者数は平成26年度よりも減少した。平成26年度は、レポートの書き方の指導に定評のある教員に講師として参加していただき好評を博したが、平成27年度はその教員が学外に異動され、講師を務めていただくことができなかった。講師の交代に伴う集客力の低下や、履修者数の多い講義の中間レポートが既に終了していたこと等が、参加者数減少の原因として考えられる。一方で、従来のポスターやチラシに加えて SNS 上での広報を開始したにもかかわらず、参加者の増加につながらなかったことは事実であり、冬学期ガイダンスの広報には更なる工夫が必要であることも浮き彫りになった。

4.2. 冬学期ガイダンスの SNS 広報の構想

4.2.1. 情報リテラシーワーキンググループでの打合せ

冬学期ガイダンスの実施に先立って、リテラ WG のメンバーによる打合せが8月に行われた。再び SNS 広報の担当となった筆者は「開催時間と場所を書いてリンクを張るだけで、同じような投稿の繰り返しになってしまう」「どこまで個性を出して良いのか分からない」等、夏学期ガイダンスの SNS 広報で感じた疑問を提起した。それを受け、リテラ WG のメンバーからは「思い切って個性を出してみても良いのではないか」「こんなガイダンスで、こんな人に受けてほしい、という内容をもっと書いてみてはどうか」等、事務的なお知らせにとどまらない投稿を促す意見があった。そこで、まずは筆者が SNS の投稿スケジュールと、もっとガイダンスを受けてみたくなるような記事の案を考え、リテラ WG メンバーに諮ることとなった。

4.2.2. ストーリー形式の連載記事の構想

SNS 記事の案を考えるにあたって最も頭を悩ませたのは、文章をどのようなトーンで書くかという点だった。Twitter は一投稿 140 字までという字数制限があるため簡潔な文体にならざるを得ないが、Facebook は字数制限がないため作成者の裁量に任される部分が多い。ガイダンスを親しみやすくアピールしたい思いと、図書館の公式アカウントとして発信するのだから文章を崩しすぎてはいけないという思いがあり、筆者は迷っていた。参考になる例を探して一橋大学附属図書館 Facebook の過去の投稿を見ていた時、平成 27 年 4 月の“かいじゅうたちのいるところ”という投稿¹⁾が目に留まった。

その投稿は、一橋大学附属図書館の入口にあるガーゴイルの石像 2 体が、キャンパスを見渡して世間話をしている、という架空の設定で図書館を紹介した記事だった。ガーゴイルの石像は正面入口の上部にエントランスを見下ろす形で飾られており、図書館 2 階の大閲覧室の窓からはガーゴイル像の後ろ姿を覗くことができる。この投稿には大閲覧室の窓から撮影したガーゴイル像の後ろ姿の写真も掲載され、本当にガーゴイルの話し声が聞こえてきそうなユーモアあふれる記事となっていた。

この投稿を見て「ガーゴイルが図書館のガイダンスを紹介する、という形で記事を書くのはどうだろう」というアイデアが浮かんだ。「図書館員である自分が書く」と思うとつい堅い文章になってしまうが、「ガーゴイルに話してもらおう」という形を取ることで、もっとガイダンスを自由にアピールする文章が書けるのではないかと考えた。

ガーゴイルにどのような形で登場してもらおうかについては、ちょうど愛読していた小説が参考になった。シャンナ・スウェンドソンの『ニューヨークの魔法使い』というファンタジー小説では、ニューヨークにある魔法使いの秘密結社の警備部長としてガーゴイルが登場する。この小説では、ニューヨークで OL をしていたヒロインが、ひよんなことから魔法使いの秘密結社にスカウトされ、新しい仲間と共に困難を切り抜けながら成長していく様子が描かれている。この小説に登場するガーゴイルは、怪物ながら人間顔負けの知性を持ち、翼を活かしてニューヨークを飛び回ってパトロールする警備部長として活躍する。強面でぶっきらぼうだが心は優しく、いざという時には飛んで駆けつけてヒロインを助ける存在として、魅力的なキャラクターに描かれている。

この小説における「怪物だけど気は優しくて、見守ってくれる」というガーゴイルのキャラクター造形からヒントを得て、一橋大学附属図書館のガーゴイル像を「図書館の番人で、学生さんを見守っている」存在として描くことにした。そのキャラクターをガイダンスの広

報と関連づけ、「ガーゴイルが図書館のガイダンスを紹介して、レポートや卒論に悩んでいる学生さんを助ける」というストーリー形式で記事を書いてみよう、と思い至った。ストーリーの形を取ることで、どんな状況にある学生にガイダンスを受けてほしいのか、ガイダンスがどんな内容で何の役に立つのか、ということを生き生きと記事にできるのではないかと考えた。また、冬学期ガイダンスは10月から11月に約2か月をかけて実施されるため、ガイダンス実施期間中にある程度まとまったストーリーを連載形式で投稿することが可能であり、同じ内容の繰り返しを避けられるという利点もあった。

4.2.3. ストーリー案の作成と情報リテラシーWGの反応

これらのアイディアに基づき、SNSの投稿スケジュールと記事の案を作成した。字数制限のあるTwitterは夏学期ガイダンスと同様にシンプルな内容とし、まずはFacebookで「冬のガイダンス」と題したストーリー形式の投稿を試作することにした。

「冬のガイダンス」投稿案では、卒業論文に悩む学部4年生の一橋太郎（ひとつばし たらう）君を主人公とし、図書館にある石像のガーゴイルに話しかけられ、勧められてガイダンスを受ける中で徐々に成長していくストーリーを作成した。ガーゴイル像が2体あることから、一方をぶっきらぼうなオス、もう一方を優しいメスと設定し、時に厳しく時に優しく太郎君を導く存在としてガーゴイル達を登場させた。2体に代わる代わる叱咤されたり慰められたりしながら、太郎君がガイダンスを受けてレポートや卒論に前向きに取り組んでいく様子を、全31回の連載ストーリーとして描いた。

9月半ばに暫定の投稿案をリテラWGのメンバーに回覧し、意見を求めた。受け入れられるか不安だったが「斬新な発想だと思う」「早く続きが読みたい」「太郎君を応援したくなる」等、好意的な反応が得られた。メンバーからのアドバイスを受け、できるだけ間を空けずに投稿すること、過去の投稿例でリーチ数の伸びが大きかった夕方に投稿時刻を設定することに留意し、投稿スケジュールを再調整した。また、ストーリー形式にすると連載の途中から投稿を見たユーザーにとっては分かりにくいのではないか、という指摘もあったため、その投稿だけを読んだとしてもガイダンスの概要が把握できるように記事内容を加筆修正した。こうして合意が得られ、平成27年9月30日より「冬のガイダンス」ストーリーのFacebook連載を開始した。

5. Facebook 連載投稿の実施と反響

5.1. Facebook 連載投稿の詳細

冬学期ガイダンスの実施期間である平成 27 年 10 月から 11 月にかけて、全 30 回の投稿を行った。全体を通じて、どんなガイダンスで何の役に立つのか、ということを学生の視点で書くように心がけ、読み手が太郎君に感情移入して「がんばってレポートを書いてみよう」「論文を書くために色々調べてみよう」と思ってくれることを目指してストーリーを作成した。

ストーリーでは、卒業論文が進まず途方に暮れている一橋太郎君が、ガーゴイルに勧められたことをきっかけに図書館のガイダンスを受講し、徐々に情報の探し方を学習していく。なかなかオリジナリティのある論文を書けずに行き詰まるものの、ガーゴイルや憧れの先輩に励まされ、データベースを活用しながら、卒業論文執筆の糸口をつかんでいく様子を描いた。記事内容にはガイダンスの開催情報やデータベースの紹介も盛り込む一方で、「自分から情報を探す」「情報をどう組み立てるか自分で考える」ことの重要性を伝えられるようなストーリー展開を心掛けた。

また「Facebook ページへの投稿のためのガイドライン」を参考に、なるべく写真やリンクを掲載するよう留意した。主人公の太郎君が見ている光景を写真にするという設定で、ストーリーに即した場面（ガーゴイル像と話したり、ガイダンスを受けたり、図書館のヘルプデスクで質問したりする様子）を撮影した。撮影に当たっては、図書館の職員に登場人物のモデルを務めてもらった。連載記事の抜粋と URL 一覧を付録として本稿の末尾に掲載しているので、ご参照されたい。

5.2. 学内外の反響

全 31 回の投稿に対して、リーチ数²は合計 9205、投稿クリック数³は合計 1711 であった。「冬のガイダンス」一連の投稿の平均リーチ数は 297 であり、平成 27 年の総投稿（405 件）の平均リーチ数は 172 であることを鑑みると、一貫して高いリーチ数を得ていることが分かる。特に、初回の投稿「冬のガイダンス 1. 出会い」（平成 27 年 9 月 30 日投稿）は合計 998 のリーチ数を獲得した。これは一橋大学附属図書館における平成 27 年度の Facebook 投稿のうち第 6 位のリーチ数であり、連載開始にあたって注目を集めたことが窺える。ストーリーが佳境に入った 11 月には、学内の教員から「ガーゴイルの投稿おもしろいね」という声もいただき、連載を楽しみにしているユーザーを獲得できたことが明らかになった。

「いいね！」を押してくれる人には他大学の教職員（特に図書館員）も多く、学外からも思わぬ反響があった。北海道の図書館員有志による団体「Hokkaido Active Library Union (HALU)」が主催する勉強会に声を掛けていただき、「冬のガイドンス」連載投稿の事例を報告する機会を得た。HALUは平成26年12月に発足して以来、研修の報告会を行ったり、ゲスト講師を招いて様々なテーマの勉強会を開催したりと、積極的に活動している。平成27年11月5日には「シャモ姉さんもガーゴイルさんも北海道の仲間たちも大集合!みんなで考える"伝え方"」と題して、HALU主催の第12回勉強会が開催された。この勉強会では、キャラクターを利用した広報を行っている図書館の事例報告と、図書館の情報発信にキャラクターがどう貢献できるかについてのディスカッションが行われた。

第12回勉強会の開催に先立って、図書館キャラクターを活用した広報事例の一つとして、一橋大学附属図書館のFacebookにおける「冬のガイドンス」連載投稿について発表してほしいという打診をHALUのメンバーの方からいただいた。ガーゴイルは一橋大学附属図書館の公認キャラクターではないため、勉強会に参加することに当初は迷いがあった。しかしHALUのメンバーの方より、図書館キャラクターはあくまで切り口のひとつであり、ガイドンスを「知ってもらいたい、伝えたい」と試行錯誤した経験を、図書館広報のひとつの工夫として共有したいというご説明を受け、Web中継の形で事例報告に参加させていただくことにした。

勉強会の事例報告では、冬学期ガイドンスの広報としてFacebook上でストーリー形式の投稿を行った経緯について発表した。発表スライドを付録として本稿の末尾に掲載している。報告後のパネルディスカッションでは、図書館キャラクターを活用した広報について活発な意見交換が行われた。内容の詳細については、勉強会のアーカイブサイト (<https://sites.google.com/site/since20141203/home/12>) に掲載されているので、ご参照されたい。

6. ガイドンス広報の成果と課題

「冬のガイドンス」連載投稿の成果としては、Facebookでのリーチ数、投稿クリック数、いいね！数が増加したこと、学内外のユーザーに対して冬学期ガイドンスの認知度が高まったことが挙げられる。ガーゴイルが活躍するストーリーが好評を博し、図書館キャラクター広報の一例として注目されるという思わぬ反響もあった。

一方で、ガイドンスの広報手段としては改善すべき点もある。平成27年度冬学期ガイド

ンスの受講者アンケートによると、Facebook を見て参加したという学生はほとんどいなかった。ガイダンスを受講したきっかけとして最も多かったのは、ポスターとチラシであった。「学生に届く」広報手段としては、やはり印刷物が強いことが明らかになった。また、SNS の情報がどれほど学生の行動に影響を与えるかについては、いまだに明らかでない部分も大きい。従来の広報手段と組み合わせて、効果的なアピール方法を模索していく必要性が示された。

7. おわりに

Facebook での「冬のガイダンス」連載投稿は、リテラ WG のメンバーをはじめとする館内各位の協力のもとに実現した。内容へのアドバイスや写真のモデルを務めてくれた協力者に感謝を申し上げる。また、楽しみに読んでいるという声を届けてくれたユーザーの皆様、第12回勉強会に声を掛けてくださった HALU の方々にも感謝の言葉を申し上げたい。2ヶ月にわたる連載投稿のスケジュール計画、ストーリー作成、写真撮影などの業務量は大きかったが、どうすればガイダンスをアピールできるか考えながら投稿を続けることはとてもやり甲斐があった。

平成27年度冬学期ガイダンスの広報としての Facebook 連載は11月をもって終了したが、予想以上の反響があったことから、今後も何らかの形でストーリーやキャラクターを活用したいと考えている。平成27年12月には、卒論に奮闘する太郎君のクリスマスの様子を後日譚として掲載した。また平成28年4月には、春学期ガイダンスの一環として図書館で脱出ゲーム（ヒントを辿りながら謎を解くクイズラリー）を行う予定であり、脱出のヒントを与える存在としてガーゴイルが再び登場する。「冬のガイダンス」連載をきっかけに興味を持ってくれたユーザーの方々が、今後の情報リテラシー教育にも注目してくれることを期待したい。

¹ 一橋大学附属図書館 Facebook 平成27年4月15日の投稿を参照。


<https://www.facebook.com/hitotsubashi.university.library>

² リーチ数とは、Facebook ページに投稿した際に、その投稿を閲覧した利用者の数を表す。

³ 投稿クリック数とは、ユーザーが投稿をクリックした合計数を表す。投稿内の URL をクリックしたり、写真をクリックして拡大したり、記事が長い場合に「もっと見る」をクリックして投稿文を全表示したりすることが含まれる。

付録 1-1 : 「冬のガイダンス」 Facebook 連載投稿 抜粋 (記事本文と写真)

9月30日投稿【冬のガイダンス 1. 出会い】



Hitotsubashi University Library
2015年9月30日 · 🌐

【冬のガイダンス 1. 出会い】
「あー、冬学期が始まっちゃったなあ・・・」
僕は一橋太郎 (ひとつぼしたろう)。一橋大学の4年生。
卒業論文の準備が全然できていないのに、もう冬学期が始まってしまっ
た。

ため息をつきながら図書館に入ろうとしたその時、
不思議な声が聞こえた。
〈冬のガイダンスが、始まるぞ！〉
え、なんだ今の声は。...誰もいないぞ？

〈ここだよ、ここ！〉
え？なんだか、頭上から聞こえたような・・・まさか!?

見上げた先には、ガーゴイルの石像が2体。
まさか、ガーゴイルがしゃべってる!?


〈その、まさかだ〉
《悩んでいる学生さんには、私たちの声が聞こえるのよ》
ガーゴイル、1体はオスで、もう1体はメスだったのか。
...いや、そんなことはどうでもいい。
きっと幻聴だ。僕の頭がおかしくなったしまったのか。

《なによ、せっかくの天の声を無視するつもり?》
〈そうだそうだ、冬のガイダンスのことを教えようと思ったのに〉
「冬の、ガイダンス?」

それが、僕とガーゴイル達との出会いだった。
図書館には、僕の知らない秘密がたくさんあるみたいだ。

(つづく)

続きが待てない方はこちら! 冬のガイダンス情報↓
<http://www.lib.hit-u.ac.jp/retrieval/seminar/>
(情報リテラシーWG : kon)



10月21日投稿【冬のガイダンス12. 次のステージへ】



Hitotsubashi University Library

2015年10月21日 · 🌐

【冬のガイダンス12. 次のステージへ】

「文献管理ツールMendeleyガイダンス」が終わった。
僕は弾む足取りで、ガーゴイルの所に駆けつけた。

〈おっ、ガイダンスはどうだった？〉

「うん、僕にはちょっとハイレベルだったけど…。読んだ論文をきちんと整理しておく大事さは、よくわかったよ」

読んだそばから忘れていた僕としては、十分受けた甲斐があった。それに…。

《嬉しそうね。憧れの先輩と、何かいいことあったの？》

「うん。今日のガイダンスが勉強になったって、花子先輩がすごく喜んでくれたんだ。誘ってくれてありがとう、って言われちゃったよ」

〈やったな！卒論のことは教えてもらえたのか？〉

「今度お茶でも飲みながら話しましょう、って言ってもらえたんだ！」

《やったじゃない!!!》

自分のことのように喜んでくれるガーゴイル達。

つい1ヶ月前までは、こんな仲間ができるなんて思ってもいなかった。

それに、ガーゴイル達が教えてくれたガイダンスのおかげで、今まで知らなかった知識や情報が手に入った。

憂鬱でたまらなかった卒論にも、今ならちゃんと向き合えそうな気がする。

「ありがとう。これからも、図書館のこと色々教えてくれよ！」

〈そこまで言われちゃ…しょうがないな〉

《そうね、11月のガイダンスも受けてもらわないとね!》

えっ、まだあるの？

《もちろん。図書館には、あなたの知らない秘密がいっぱいよ!》

〈卒論までに、まだまだ鍛えてやらないとな!〉

…こうなったら、ガーゴイル達について行ってみよう!

11月が楽しみになってきた。

(第2部へつづく)

続きをお楽しみに! 11月のガイダンス詳細はこちら↓

<http://www.lib.hit-u.ac.jp/retrieval/seminar/>

(情報リテラシーWG : kon)

11月13日投稿【冬のガイダンス 21. 沈黙】



Hitotsubashi University Library

2015年11月13日

【冬のガイダンス 21. 沈黙】

ガーゴイルと喧嘩してしまってから、不思議なことが起きた。
図書館の前を通っても、ガーゴイルの声が聞こえないのだ。
最初は、怒って僕を無視しているんだと思っていた。僕も気まずくて、避けていたところがある。
でも、さすがに謝ろうと思って声を掛けても、反応してくれないのだ。

「ガーゴイル、この前は悪かったよ。役に立たない、なんて言ってごめん」

そう口に出しても、ガーゴイル達はまったくリアクションしない。

「まだ怒ってるの？ 仲直りしようよ」

2体とも無言のまま。まるで、ただの石像に戻ったみたいだ（って、石像なんだけど）。

「どうしちゃったんだよ？ また、ガイダンスのことを教えてくれよ！」

いくら懇願しても、ガーゴイル達の声が聞こえてくることはなかった。

僕は目の前が真っ暗になった気がした。

いつの間にか、ガーゴイルと話ができることが当たり前ようになっていたけれど、

図書館の石像がガイダンスのことを教えてくれる...なんて、夢物語みたいなものだ。

でも、僕がここまで頑張ってきたのは夢なんかじゃない。ガーゴイル達のおかげだ。

それなのに、僕はなんて恩知らずなことをやってしまったんだろう。

（もうダメだ。このままじゃ、僕なんか...）

ため息をついた時、ふと、ガーゴイルの最後の一言を思い出した。

〈こいつはもう、自分で何とかする時期なんだ〉

もしかして、自分で解決してみせろってことなのか？

そのために今、あえて僕を無視している...？

答えはわからない。でも、この行き詰まりを乗り越えたら、またガーゴイルと話せる日が来るのかもしれない。

こうなったら、やってみせるしかない。

僕は図書館に入り、早速カウンターで申し込んだ。

「次回のガイダンス、受けたいんですけど...」

（つづく）

やる気を取り戻した一橋 太郎くん。次のガイダンスはこちら↓

■冬のガイダンスの「D1-Lawの使い方」

日時： 11月18日(水) 14:00-15:30

場所： 情報教育棟演習室22

<http://www.lib.hit-u.ac.jp/retrieval/seminar/>

（情報リテラシーWG：kon）

11月30日投稿【冬のガイダンス最終回. 秘密】



Hitotsubashi University Library

2015年11月30日

【冬のガイダンス最終回. 秘密】

図書館のガーゴイル像と話したことがあるのは、僕だけじゃなかった。憧れの花子先輩も、ガーゴイル達にヒントをもらって、卒論を書き上げたという。

そのことに励まされ、僕はひたすら卒論を書いている。なんとか形になり始めたものの、まだまだ課題は山積みで、本当に書き上げられるのか、ときどき心細くなる。

読み込まなきゃいけない文献を抱えて図書館を出ると、あたりは真っ暗だった。

吐く息も白くなって、もうすっかり冬だ。

ガーゴイルに初めて話しかけられた頃は、まだ少し暑いくらいだったのに...

〈なに、シケた顔してるんだよ〉

《私たちに会えないのが、そんなに寂しかったの?》

えっ!?この声は...

「ガーゴイル!なんで今まで、話しかけてくれなかったんだよ」

〈お前が一人でどこまでやれるか、様子を見てたんだ〉

《本当は卒論を書き終えるまで、話しかけないことにしてるんだけど...太郎くんがあんまり寂しそうだったから、特別サービスよ》

「じゃあ、やっぱり僕以外にも、学生に話しかけたことがあるんだね」

〈もちろん。俺達が何年、図書館にいると思ってるんだ〉

「でも...きみたち石像だろ。どうして話しかけたりするの?」

僕の質問に、ガーゴイル像は少しだけ微笑んだ(ような気がした)。

〈それは、俺達が図書館の番人だからだろうな〉

《私達は石像だけど...いつからか、図書館の声が聞こえるようになったの》

図書館の、声?

〈図書館にあるものはみんな、誰かの役に立ちたいと思ってるんだ〉

《でも図書館はしゃべれないから、私達が代わりに教えてあげるの。ここに宝物があるよって》

「それで、僕にガイダンスのこととか、データベースのこととか教えてくれたの?」

〈そうだ。宝物を使いこなせるかは、お前次第だけだな〉

「じゃあ、なんで急に話しかけてくれなくなっちゃったんだよ」

《太郎くんは、もう一人で大丈夫だからよ》

そう言われたとき、嬉しいような寂しいような、不思議な気持ちでした。

「全然大丈夫なんかじゃないよ。しょっちゅう行き詰まるし、時間も足りなくなってきたし、やばいよ」

《でも、冬学期が始まった頃のあなたとは、確かに変わったはずよ》

〈俺達の目に狂いはない。自分を信じろ〉

こんなにストレートに励ましてくれるなんて...やばい、泣けてきた。
〈しっかりしろよ。というわけだ、しばらく一人で卒論がんばれ〉
「えっ、待ってよ！これから時々、話しかけてくれるんだよね？」
〈うるさいな。いつまでも俺達をあてにするなよ〉
「ガイダンスのことじゃなくても...ちょっと世間話とかでもいいからさ」
《もっと素敵な話し相手が、そこにいるわよ？》

あわてて振り向くと、花子先輩が立っていた。
秘密を知っている人の目で、いたずらっぽく微笑んでいる。
花子先輩も、こうして苦しんだり喜んだりしながら、卒論を書いていたんだ。

僕もきつと、やり遂げてみせる。そして、無事に書き上げたら...

〈告白する気か？そりゃまだまだ、お前にはハードル高いぞ〉
《あら、そうでもないんじゃない？二人とも、いい感じだもの》

ありがとう。僕、がんばるよ！
ガーゴイルのおかげで、忘れられない冬になりそうだ。

(おわり)

【冬のガイダンス】お楽しみいただけましたでしょうか。
最後までお付き合いいただき、ありがとうございました！
これからもFacebook・Twitterで情報を発信していきます！
よろしく願いいたします☆

<https://www.facebook.com/hitotsubashi.university.library>

https://twitter.com/hito_lib

(情報リテラシーWG・kon)



付録 1-2 : 平成 27 年度「冬のガイダンス」連載の投稿日・URL 一覧

1	9/30	<p>【1. 出会い】一橋太郎君が初めてガーゴイルに遭遇。</p> <p>https://www.facebook.com/hitotsubashi.university.library/photos/a.472303186168074.1073741826.276566822408379/890767560988299/?type=3&theater</p>
2	10/2	<p>【2. 会話】ガーゴイルから冬のガイダンスの話を聞く。</p> <p>https://www.facebook.com/hitotsubashi.university.library/photos/a.472303186168074.1073741826.276566822408379/891174974280891/?type=3&theater</p>
3	10/3	<p>【3. はじめの一步】「Web of Science ガイダンス」の情報を入手。</p> <p>https://www.facebook.com/hitotsubashi.university.library/photos/a.472303186168074.1073741826.276566822408379/892679277463794/?type=3&theater</p>
4	10/7	<p>【4. 次の一步】Web of Science ガイダンスを受講し、次回も受ける気になる。</p> <p>https://www.facebook.com/hitotsubashi.university.library/photos/a.472303186168074.1073741826.276566822408379/893409107390811/?type=3&theater</p>
5	10/8	<p>【5. 秘密】「日経 NEEDS Financial Quest ガイダンス」の情報を入手。</p> <p>https://www.facebook.com/hitotsubashi.university.library/photos/a.472303186168074.1073741826.276566822408379/893761000688955/?type=3&theater</p>
6	10/9	<p>【6. 焦燥】「卒業論文の書き方」ガイダンスの情報を入手。</p> <p>https://www.facebook.com/hitotsubashi.university.library/photos/a.472303186168074.1073741826.276566822408379/894102753988113/?type=3&theater</p>
7	10/13	<p>【7. 衝撃】ガイダンス中、ガーゴイルが飛んで来たのを発見して驚く。</p> <p>https://www.facebook.com/hitotsubashi.university.library/photos/a.472303186168074.1073741826.276566822408379/895657447165977/?type=3&theater</p>
8	10/14	<p>【8. 勇気】ガーゴイルと話していたら、大学院生の国立花子先輩が現れる。</p> <p>https://www.facebook.com/hitotsubashi.university.library/photos/a.472303186168074.1073741826.276566822408379/896134297118292/?type=3&theater</p>
9	10/15	<p>【9. 挑戦】憧れの花子先輩を「英語論文の書き方ガイダンス」に誘う。</p> <p>https://www.facebook.com/hitotsubashi.university.library/photos/a.472303186168074.1073741826.276566822408379/896410300424025/?type=3&theater</p>

10	10/16	<p>【10. 挫折】「英語論文の書き方ガイダンス」が高度すぎて落ち込む。</p> <p>https://www.facebook.com/hitotsubashi.university.library/photos/a.472303186168074.1073741826.276566822408379/896843283714060/?type=3&theater</p>
11	10/17	<p>【11. 再挑戦】「文献管理ツール Mendeley ガイダンス」の情報を入手。</p> <p>https://www.facebook.com/hitotsubashi.university.library/photos/a.472303186168074.1073741826.276566822408379/896849390380116/?type=3&theater</p>
12	10/21	<p>【12. 次のステージへ】ガイダンスを花子先輩と受講し、やる気を取り戻す。</p> <p>https://www.facebook.com/hitotsubashi.university.library/photos/a.472303186168074.1073741826.276566822408379/898872913511097/?type=3&theater</p>
13	10/23	<p>【番外編】ガーゴイルから11月のガイダンス日程を紹介。</p> <p>https://www.facebook.com/hitotsubashi.university.library/photos/a.472303186168074.1073741826.276566822408379/899577533440635/?type=3&theater</p>
14	10/28	<p>【13. 再始動】「LexisNexis の使い方」ガイダンスの情報を入手。</p> <p>https://www.facebook.com/hitotsubashi.university.library/photos/a.472303186168074.1073741826.276566822408379/901378486593873/?type=3&theater</p>
15	10/29	<p>【14. 発表】ゼミ発表後、先生から「オリジナリティがない」と指摘される。</p> <p>https://www.facebook.com/hitotsubashi.university.library/photos/a.472303186168074.1073741826.276566822408379/901714516560270/?type=3&theater</p>
16	10/30	<p>【15. ライバル】法科大学院生の法曹仁先輩が登場、花子先輩と親し気。</p> <p>https://www.facebook.com/hitotsubashi.university.library/photos/a.472303186168074.1073741826.276566822408379/902105643187824/?type=3&theater</p>
17	10/30	<p>【16. 対抗】仁先輩に対抗し、法学系データベースのガイダンス受講を決意。</p> <p>https://www.facebook.com/hitotsubashi.university.library/photos/a.472303186168074.1073741826.276566822408379/902193843179004/?type=3&theater</p>
18	10/31	<p>【17. 宝石】一橋祭で図書館の企画展示を見学し、卒業論文のヒントを得る。</p> <p>https://www.facebook.com/hitotsubashi.university.library/photos/a.472303186168074.1073741826.276566822408379/902110283187360/?type=3&theater</p>

19	11/2	<p>【18. ひらめき】情報をどう論文に使うかが大事だと気づき、やる気を出す。</p> <p>https://www.facebook.com/hitotsubashi.university.library/photos/a.472303186168074.1073741826.276566822408379/903293769735678/?type=3&theater</p>
20	11/10	<p>【19. 動揺】花子先輩と仁先輩が二人でガイダンスに来たことにショック。</p> <p>https://www.facebook.com/hitotsubashi.university.library/photos/a.472303186168074.1073741826.276566822408379/905979166133805/?type=3&theater</p>
21	11/11	<p>【20. 決裂】二人が気になって集中できず、ガーゴイルに八つ当たり。</p> <p>https://www.facebook.com/hitotsubashi.university.library/photos/a.472303186168074.1073741826.276566822408379/906761619388893/?type=3&theater</p>
22	11/13	<p>【21. 沈黙】喧嘩してからガーゴイルと会話が出来なくなり、落ち込む。</p> <p>https://www.facebook.com/hitotsubashi.university.library/photos/a.472303186168074.1073741826.276566822408379/907173052681083/?type=3&theater</p>
23	11/16	<p>【22. 自立】自力で頑張ろうと決意し「D1-Law の使い方」受講を申し込む。</p> <p>https://www.facebook.com/hitotsubashi.university.library/photos/a.472303186168074.1073741826.276566822408379/908605375871184/?type=3&theater</p>
24	11/18	<p>【23. 再会】「D1-Law の使い方」ガイダンスで花子先輩と久しぶりに話す。</p> <p>https://www.facebook.com/hitotsubashi.university.library/photos/a.472303186168074.1073741826.276566822408379/908997419165313/?type=3&theater</p>
25	11/19	<p>【24. 真相】誤解が解け、花子先輩と次回ガイダンスを受ける約束をする。</p> <p>https://www.facebook.com/hitotsubashi.university.library/photos/a.472303186168074.1073741826.276566822408379/909005912497797/?type=3&theater</p>
26	11/20	<p>【25. 試行錯誤】ゼミ発表に向けて情報収集し、卒業論文の糸口を掴む。</p> <p>https://www.facebook.com/hitotsubashi.university.library/posts/909008089164246</p>
27	11/24	<p>【26. 発表】ゼミ発表で先生から OK をもらい、卒業論文が本格始動。</p> <p>https://www.facebook.com/hitotsubashi.university.library/photos/a.472303186168074.1073741826.276566822408379/911648315566890/?type=3&theater</p>
28	11/25	<p>【27. 最終日】「Juris Online の使い方」ガイダンスを花子先輩と受講。</p> <p>https://www.facebook.com/hitotsubashi.university.library/photos/a.472303186168074.1073741826.276566822408379/912061538858901/?type=3&theater</p>

29	11/27	<p>【28. 告白】花子先輩の卒論体験談から、ガーゴイルの意外な真実を知る。</p> <p>https://www.facebook.com/hitotsubashi.university.library/photos/a.472303186168074.1073741826.276566822408379/912835108781544/?type=3&theater</p>
30	11/30	<p>【最終回. 秘密】再びガーゴイルの声が聞こえ、卒論をやり遂げようと決意。</p> <p>https://www.facebook.com/hitotsubashi.university.library/photos/a.472303186168074.1073741826.276566822408379/914012791997109/?type=3&theater</p>
31	12/25	<p>【クリスマス特別編】卒論追込み中、花子先輩と偶然再会し贈り物をもらおう。</p> <p>https://www.facebook.com/hitotsubashi.university.library/photos/a.472303186168074.1073741826.276566822408379/925324637532591/?type=3&theater</p>

付録2 : Hokkaido Active Library Union (HALU) 主催の勉強会での発表資料

ガーゴイル誕生秘話： ガイダンス広報とFacebook

2015年11月5日 図書館キャラに関する勉強会
一橋大学 学術・図書部 学術情報課
近藤 久美子



【冬のガイダンス】連載中。

- 一橋太郎くん(卒論準備中の4年生)に、
図書館の番人ガーゴイルたちが
ガイダンス情報をアドバイス。

見逃すなよ！



冬のガイダンス広報担当になって...

興味を持ってもらえる記事にしたいのに、
Facebookの文章がどうしても堅くなる。



「自分が話す」と思うから、かしこまっちゃう。



「自分じゃないもの」にしゃべらせてみよう！

3

ガーゴイルのきっかけ(1)

投稿【**かいじゅうたちのいるところ**】by さっしー

 ガーゴイルにしゃべらせたら、面白いかも！



4

ガーゴイルのきっかけ(2)

シャンナ・スウェンドソン

『ニューヨークの魔法使い』シリーズ

- ニューヨークのOLさんが魔法の会社に就職
- 魔法会社の警備部長としてガーゴイルが登場
- ぶっきらぼうだけどいざという時に助けてくれる



ガーゴイルが学生さんを助ける
ストーリーにしよう！

6

Facebookで心掛けていること

- できるだけ写真を入れる(撮影協力に感謝)
 - どんなガイダンスか、学生目線で書く
 - 論文がんばろう！と思わせる内容にする
- ➡ ストーリーにしたら、やりやすくなりました。



まだまだ続くぞ！

6

Special Thanks!

- Goサインを出してくれた、**情報リテラシーWG**
- 「おもしろい！」と後押ししてくれた**鈴木課長**
- Facebookノウハウを教えてくれた、**さっしーさん**
- モデルになってくれた**haruさん、Dさん、垣さん**
- システムまわりを助けてくれる**電子情報係さん**
- ガイダンスを運営している**レファレンス係さん**
- そして、**応援してくれるみなさん。**

7

一橋大学附属図書館Facebookを よろしくお願ひします！

<https://www.facebook.com/hitotsubashi.university.library>



8

[Report]

Social Networking Service as publicity activities for information literacy programs: a case of serial posts for library orientations in winter 2015

Terashima, Kumiko.

Serials Section, Library Affairs Division, Department of Libraries and Information,

Hitotsubashi University